

名古屋市社会福祉協議会
ボランティアセンター
令和7年度事業実績



社会福祉法人 名古屋市社会福祉協議会
ボランティアセンター

〒462-8558 名古屋市北区清水4丁目17番1号
名古屋市総合社会福祉会館内

電話 (052) 911-3180
FAX (052) 917-0702

目次

ボランティアセンターの運営

1	ボランティア活動に関する相談・情報提供等	1
2	ボランティア活動拠点・活動資器材の提供	5
3	ボランティア情報の収集・発信	6

ボランティア活動の支援・振興

4	ボランティア意識・活動の啓発	8
5	ボランティアの学習の場づくり	9
6	企業の社会貢献活動・勤労者のボランティア活動の支援	10
7	助成事業等の情報提供及び団体の推薦等	11
8	ボランティア活動に関する顕彰への推薦等	13
9	市域ボランティアネットワーク組織の支援	14

地域福祉活動・ボランティア活動の担い手・しくみづくり

10	福祉教育・ボランティア体験学習の推進	21
11	災害ボランティア活動の推進	27
12	地域の支え手応援事業	34

区社会福祉協議会ボランティアセンターの支援

13	市・区社協ボランティアセンターの機能強化	36
----	----------------------	----

他の市民活動推進機関との連携、ボランティア活動に関する調査・研究

14	他機関との連携・協力、ボランティア活動に関する調査・研究	37
----	------------------------------	----

資料編

1	ボランティアセンターのあゆみ	39
2	所管事業名称等一覧表	44

1 ボランティア活動に関する相談・情報提供等

1 窓口等でのボランティア活動相談・連絡調整、保険加入受付等(市社協分のみ)

(1) 相談総件数 542件

(内訳)

内容	件数
ボランティアの依頼に関する事	221件
ボランティア活動希望に関する事	85件
ボランティア保険に関する事	122件
講座等の情報に関する事	15件
福祉教育に関する事	14件
災害ボランティア等に関する事 (東日本大震災VCなごや関係も含む)	17件
その他ボランティア活動一般	68件

※内訳は下記(2)参照

(2) ボランティアの依頼の内訳

依頼内容	依頼件数	対応件数
日常生活支援(継続)	0件	0件
日常生活支援(随時)	1件	1件
見守り・話し相手・孤立防止	7件	7件
移動・外出	160件	99件
社会参加・交流	3件	1件
趣味・教養	6件	3件
施設ボラ運営系	4件	4件
施設ボラ披露系	16件	12件
その他	24件	24件

(3) ボランティア活動保険・行事用保険の加入受付

活動 保険	行事用保険					
	総数	日帰 (A行事)	日帰 (B行事)	日帰 (C行事)	当日 参加型	宿泊 行事
(人)	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)	(件)
5462	88	77	1	0	7	3

2 ボランティア登録制度(市・区社協)

本会と区社協では、ボランティア活動を希望する、または活動を行っている個人や団体の登録を受け、ボランティア活動に関する情報提供や需給調整(コーディネート)等に活用している。

市社協と各区社協では、共通の登録制度・情報管理システム(名古屋市・区社協登録ボランティア情報管理システム「みみライン」)を導入し、市内のボランティア登録情報を共有・活用している。

(参考) 社協別ボランティア登録者数 (令和8年3月31日現在)

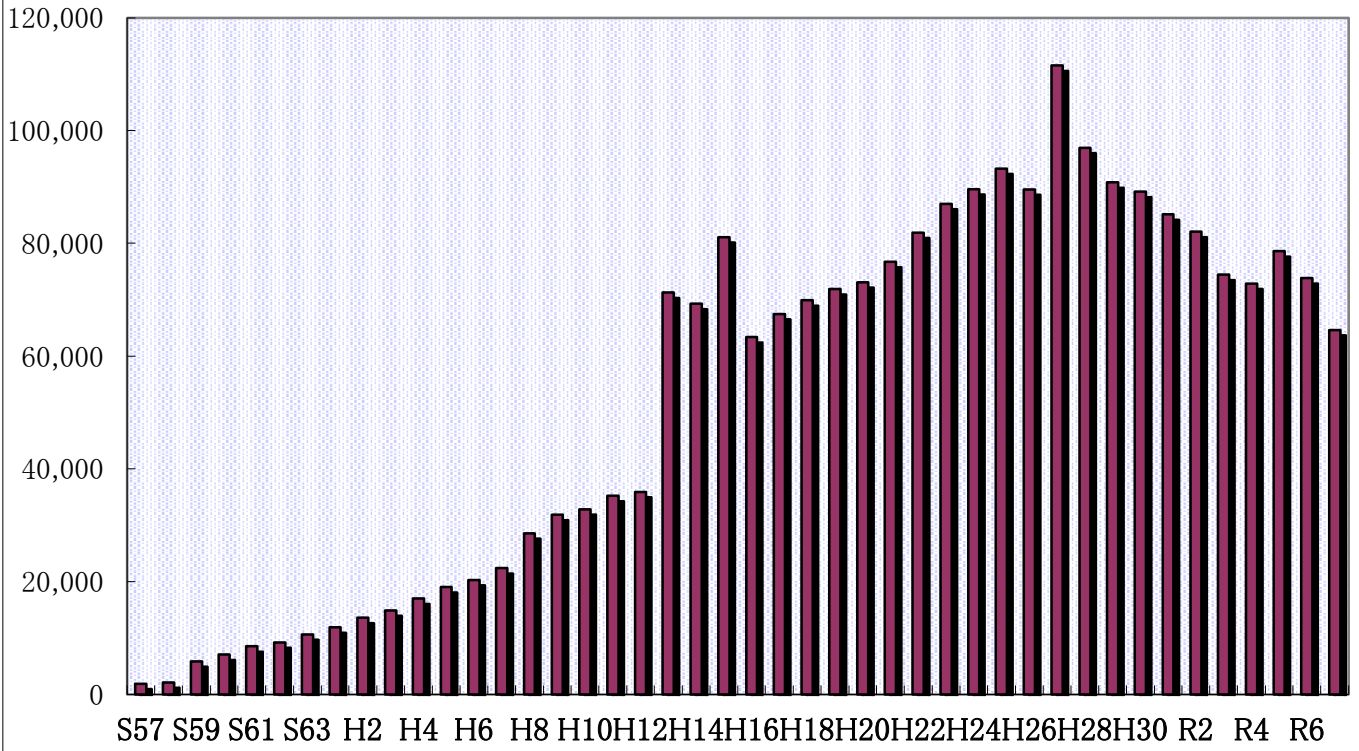
登録種別	①グループ数 (団体)	②グループ人数 (人)	③個人登録者 (人)	④登録人数合計 (②+③ (人))	
登録社協	千種	72	2,906	51	2,957
	東	80	1,867	63	1,930
	北	99	1,836	49	1,885
	西	97	1,736	45	1,781
	中村	73	3,871	30	3,901
	中	108	6,865	49	6,914
	昭和	79	2,229	31	2,260
	瑞穂	78	2,280	39	2,319
	熱田	45	858	57	915
	中川	82	1,203	30	1,233
	港	66	2,209	65	2,274
	南	100	2,109	38	2,147
	守山	91	2,936	29	2,965
	緑	149	3,528	103	3,631
	名東	75	2,242	113	2,355
	天白	100	2,227	62	2,289
市	108	22,859	45	22,904	
合計	1,502	63,761	899	64,660	

ボランティア登録者数（名古屋市・区社協登録）の推移

年度	個人登録 登録人数(A)	グループ登録〔人〕		合 計〔人〕 (A+B)	前年度比較	
		グループ数	登録人数(B)		増△減	前年比
S57				1,922	-	-
S58				2,134	212	111.0%
S59				5,855	3,721	274.4%
S60				7,044	1,189	120.3%
S61				8,542	1,498	121.3%
S62				9,220	678	107.9%
S63				10,640	1,420	115.4%
H1				11,888	1,248	111.7%
H2				13,619	1,731	114.6%
H3				14,912	1,293	109.5%
H4				17,026	2,114	114.2%
H5				19,051	2,025	111.9%
H6				20,297	1,246	106.5%
H7	1,134	763	21,241	22,375	2,078	110.2%
H8	1,221	809	27,381	28,602	6,227	127.8%
H9				31,888	3,286	111.5%
H10	1,519	941	31,315	32,834	946	103.0%
H11	1,632	986	33,603	35,235	2,401	107.3%
H12	1,965	1,018	33,947	35,912	677	101.9%
H13	1,740	933	69,565	71,305	35,393	198.6%
H14	999	1,063	68,303	69,302	△ 2,003	97.2%
H15	1,245	1,280	79,835	81,080	11,778	117.0%
H16	1,224	1,365	62,156	63,380	△ 17,700	78.2%
H17	1,216	1,416	66,259	67,475	4,095	106.5%
H18	1,511	1,489	68,397	69,908	2,433	103.6%
H19	1,541	1,493	70,382	71,923	2,015	102.9%
H20	1,526	1,525	71,546	73,072	1,149	101.6%
H21	1,436	1,630	75,282	76,718	3,646	105.0%
H22	1,509	1,693	80,395	81,904	5,186	106.8%
H23	2,538	1,917	84,466	87,004	5,100	106.2%
H24	2,911	1,612	86,721	89,632	2,628	103.0%
H25	3,104	2,107	90,149	93,253	3,621	104.0%
H26	2,975	2,095	86,562	89,537	△ 3,716	96.0%
H27	3,264	2,551	108,272	111,536	21,999	124.6%
H28	2,772	2,592	94,182	96,954	△ 14,582	86.9%
H29	1,901	2,378	88,889	90,790	△ 6,164	93.6%
H30	2,191	2,541	86,965	89,156	△ 1,634	98.2%
R1	1,827	2,410	83,279	85,106	△ 4,050	95.5%
R2	1,462	2,236	80,580	82,042	△ 3,064	96.4%
R3	1,397	2,173	73,055	74,452	△ 7,590	90.7%
R4	1,479	2,196	71,416	72,895	△ 1,557	97.9%
R5	1,589	2,181	76,995	78,584	5,689	107.8%
R6	1,662	2,195	72,156	73,818	△ 4,766	93.9%
R7	899	1,502	63,761	64,660	△ 9,156	87.6%

※令和7年度より準登録を廃止したため、ボランティア登録者数の計上範囲に変更がある。(計上誤差約1,300人)

ボランティア登録人数の推移



2 ボランティア活動拠点・活動資器材の提供

1 活動拠点(市総合社会福祉会館6階ボランティアセンター)の概要

(1) 多目的活動室《要予約、部屋は東西分割可》

面積：133㎡

目的：登録ボランティアの会合・研修・作業等を行う

定員：30名（東・西各15名）

設備：東・西とも長机8本・いす20脚・ホワイトボード2台

VHSビデオデッキ付テレビ1台（東のみ）

(2) グループ活動室《予約不要》

面積：66㎡

目的：ボランティア活動に関する印刷その他軽易な作業、簡単な打ち合わせ等を行う

定員：8名

設備：作業台及び小規模打合せスペース

登録ボランティア向け印刷機 1台（利用料必要）

登録ボランティア向け貸しロッカー

(3) 点訳室《要予約》

面積：40㎡

目的：点訳ボランティアが点訳作業・点字印刷作業を行う

定員：12名

設備：点訳パソコン+点字プリンタのセット3台

(4) 録音編集室《要予約》

面積：20㎡（録音室2室）

目的：朗読ボランティア等が視覚障がい者等向けのテープ・CDを録音・ダビングする

定員：10名

設備：A室：テープ録音デッキ・ダビング装置一式

B室：CD録音用パソコン・CDダビング装置一式

(5) トレーニングルーム《年間の使用申請が必要》

面積：273㎡

目的：非営利団体による障がい者や高齢者を対象とした療育指導やリハビリ指導、乳幼児を対象とした育児指導などを行う

定員：50名

設備：カーペット敷き（机・いす等はなし）

令和7年度 各部屋利用状況

	多目的活動室	グループ活動室	点訳室	録音編集室	トレーニングルーム	計
利用件数(件)	450	250	174	66	503	1,443
利用人数(人)	4,964	729	606	358	8,257	14,914

3 ボランティア情報の収集・発信

1 市社協広報誌「ふれあい名古屋」の「ほっとはあとコーナー」の編集

(1) 経緯

昭和59年からボランティア情報誌「ほっとはあと」の発行を開始、平成18年に市社協広報誌「ふれあい名古屋」と統合し、以後、同誌内の「ほっとはあとコーナー」にて情報を掲載

(2) 発行回数（令和7年度）

年2回（夏号（7月）、冬号（1月））

(3) 発行部数

13,000部

(4) 編集方法

編集・取材ボランティア「ほっとはあとクラブ」との共同編集

(5) 主な配布先

市・区社会福祉協議会登録ボランティアの他、民生委員、図書館、小・中・高校・大学、区役所、本会会員の福祉施設等

(6) 主な内容

- ・旬ボラに行く！🚗
地域課題等に取り組むボランティアの方々に地域への想いや活動についての記事
- ・きらっとボランティア・NPO らいぶ
きらっと光るボランティア・NPO 活動者へのインタビュー記事
- ・なごやボラめぐり
各区社協職員から区内のオススメボランティアを推薦してもらい紹介する記事
- ・ひとこと😊ほっとはあと
編集ボランティアのほっとするようなエピソードを紹介

2 名古屋市・区社協ボランティア情報サイト「なごやボラねっと」

市社協もしくは16区社協にボランティア登録している団体のうち、情報公開を希望する団体の情報をインターネットで検索・表示できるシステムを、特定非営利活動法人ボラみみより情報局のシステム提供により開設している。平成29年度には、スマートフォン及びタブレット対応に仕様変更。令和3年度にリニューアルし、登録ボランティア団体や福祉施設に情報発信権限を与え（ID発行）、登録個人ボランティアの希望者に情報配信を開始し、スマートフォン版の改修も行った。

(1) 開設日 平成22年2月1日

(2) URL https://www.mimiline.jp/nagoya_svc/

(3) 情報公開団体数 947団体（令和8年3月31日現在）

(4) 情報配信対象者数・配信数 574人に113通メール配信（記事192件）

3 「名古屋市社会福祉協議会 Facebook(フェイスブック)」

ボランティア等に関する情報や開催行事報告、ボランティア等が申請できる助成金情報などを随時掲載。

URL：<https://www.facebook.com/nagoyashi.shakyo>

4 「なごや福祉ボランティア募集情報」

市社協および16区社協において、区内福祉施設やボランティア団体からボランティアニーズを聞き取り、ボランティア募集情報としてとりまとめ、冊子として発行。

(1) 発行回数

年2回（令和7年7月、令和8年1月）

(2) 配架先

16区社協、名古屋市市民活動推進センター、大学ボランティアセンター等

※その他、本会ウェブサイトにもPDFデータを掲載

(3) 掲載募集情報数

320（令和8年1月号実績）

5 「ボランティア活動紹介動画作成」

ボランティア活動の見える化を通して、市民のボランティア参加意欲を促進するため、ボランティア団体の活動の様子を撮影して動画にし、インターネット上に掲載。1団体の紹介ではなく、活動分野や、ボランティアの種類の種類に重点を置いた。また、気軽に見ていただけるよう動画1つ当たりの長さは3分程度に抑えることとした。

<公開されている紹介動画>

おもちゃ図書館ボランティア（令和3年度）

おもちゃ病院ボランティア（令和3年度）

音訳ボランティア（令和4年度）

点訳ボランティア（令和5年度）

4 ボランティア意識・活動の啓発

1 ボランティアセンターPRパンフレットの発行



<内容>

- ・ ボランティア・市民活動とは
- ・ ボランティア活動を始める前の知っておきたい心がまえ10カ条
- ・ いろいろなボランティア・市民活動
- ・ 社協ボランティアセンターの役割
- ・ 名古屋市内のボランティアセンター

2 ぼらマッチ! なごや

ボランティアをしたい人と、ボランティアを必要としている団体・施設のマッチングイベント
(就職企業展のボランティア版)

主催:名古屋市・名古屋市社会福祉協議会

企画:ボランティア活動の促進協働会議

参加団体(愛知大学、愛知大学 Aivo、愛知学院大学 社会連携センター、愛知学院大学 AGU
ボランティアセンター、愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター、愛知淑徳大学 学
生団体 チームわんわん、愛知淑徳大学 学生団体 らぶ・(てん)、株式会社デンソー、特定非営
利活動法人 名古屋 NGO センター、名古屋学院大学 社会連携センター、社会福祉法人 名古
屋市社会福祉協議会、名古屋スポーツ市民局市民活動推進センター、名古屋市青少年交流
プラザ ユースクエア、名古屋市総務局総合調整部総合調整課、特定非営利活動法人 ボラみ
みより情報局、名城大学 ボランティア協議会/50音順)

日時:令和7年11月29日(土)13:00~16:30

会場:愛知大学 名古屋キャンパス(中村区平池町4-60-6)

内容:●ぼらトーク!

社会貢献・ボランティア活動をしている人たちの体験談を聞けるトークコーナー

●団体・施設ブース、相談コーナー

様々な活動分野の32団体・施設がブース出展

●相談コーナー 相談9件

市民活動推進センター、市社協職員ボランティアコーディネーターによる相談

●体験コーナー

ワークショップ 20名

難聴者支援ボランティア 30名

点字 40名

モルック 40名

●ボランティア入門講座 18名

市民活動推進センター職員によるボランティア入門講座

●おしゃべりコーナー 9名

大学生による学生向けおしゃべり相談コーナー

参加者:234名(資料配布数を計上。出展者・スタッフ含む)

5 ボランティアの学習の場づくり

1 「なごやボランティア楽集(がくしゅう)会～しゃべり場・学び場・気づきの場～」

ボランティア・市民活動の実践者同士（同志）が活動の意義や役割、原点等についてともにふりかえり、次世代の実践者に対して「思い」を紡ぐことを目的に開催。

(1) 開催委員会

有志による委員会で企画・運営を行った。

- ①委員：明石 雅世（みんなで創ろうわがまちひがし、♪ハーモニー♪、東区民生児童委員）
井階 弥可（点訳ボランティア北コース会、こころに寄り添うボランティア“かけはし”代表）
織田 元樹（特定非営利活動法人ボラみみより情報局 代表理事）
佐原 恵津子（特定非営利活動法人ボラみみより情報局、国際子ども学校）
椿 佳代（エンジェルランプ、多文化防災ネットワーク愛知・名古屋）
渡辺 勉（夢喰人 代表、特定非営利活動法人チャイルドラインあいち）

②会議：会場とオンラインと併用開催(会場+オンライン)

- 第1回……………令和7年 6月 1日(日) 5名参加+事務局2名
第2回……………令和7年 7月29日(火) 6名参加+事務局2名
第3回……………令和7年 9月16日(火) 5名参加+事務局2名
第4回……………令和8年 1月30日(金) 4名参加+事務局2名

(2) 当日

○第10回なごやボランティア楽集会～しゃべり場・学び場・気づきの場～

①主催：なごやボランティア楽集会開催委員会（事務局：名古屋市社会福祉協議会）

②日時：第1回 令和7年6月22日（日）13：00～16：30

第2回 令和7年7月12日（土）13：00～16：30

③場所：名古屋能楽堂 会議室

④テーマ：『誰も置きざりにしない社会をめざして～暮らしを支える現場から～』

⑤講師：第1回 渋谷 幸靖さん（NPO法人 陽和 理事長）

第2回 神 朋代さん（認定NPO法人 LivEquality HUB 居住支援コーディネーター）

⑥参加者：第1回 26名

第2回 17名

6 企業の社会貢献活動・勤労者のボランティア活動の支援

1 活動情報の提供等

(1) 事業提案、他機関・団体への紹介

企業等からの問合せに対応し、企業の社会貢献事例についての情報提供や必要に応じて区社協や他団体等につなぐ等を行った。

(2) 社会貢献・ボランティア情報無料メール配信サービスの開始

2026年1月に関係企業へチラシ送付、2月に第1号を配信した。

登録企業数：6

配信数：1

掲載内容：なごや福祉ボランティア募集情報（1月発行）、福祉教育のつどいのチラシ等

2 活動支援・調整等

(1) 社会貢献活動支援

ナゴヤドームでの野球観戦招待事業の招待先調整

企業：名古屋住友クラブ

内容：児童養護施設等で生活する児童などを野球観戦に招待

2025年分のナゴヤドームでの中日ドラゴンズ戦

全69試合×5席=345名（3団体）を招待

(2) 寄贈物品の紹介・調整・受付（本会受付分のみ）

福祉車両「愛の鈴号」寄贈先調整

企業：東海テレビ

内容：障がい者福祉事業に取り組んでいる社会福祉施設や福祉関係団体への周知、東海テレビへの推薦先の決定

7 助成事業等の情報提供及び団体の推薦等

民間団体等が行う活動助成事業や寄贈事業について、本会窓口への案内等配架や本会 Facebook への情報掲載等を通して広く情報提供を行った。

1 助成事業・寄贈情報の提供(順不同) ※「★」は寄贈事業

- ・24 時間テレビ「24 時間テレビ 48 「愛は地球を救う」福祉車両等寄贈」★
- ・公益財団法人大同生命厚生事業団「2025 年度シニアボランティア活動助成」・「ビジネスパーソンのボランティア活動助成」・「地域保健福祉研究助成」
- ・公益財団法人日本生命財団「2025 年度高齢・地域共生社会助成」
- ・一般財団法人松翁会「2025 年度社会福祉助成金」
- ・公益財団法人みずほ福祉助成財団「2025 年度社会福祉助成金」
- ・クリエイティブ・リンク・ナゴヤ「2025 年度社会連携活動助成」
- ・公益財団法人ユニバーサル財団「2025 年度特定活動助成」
- ・社会福祉法人丸紅基金「2025 年度(第 51 回)社会福祉助成金」
- ・社会福祉法人清水基金「2025 年度助成事業」
- ・社会福祉法人清水基金「2025 年度地域連携研修助成事業(法人主催型)」
- ・公益財団法人住友生命健康財団「2025 年スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」
- ・公益財団法人 S O M P O 福祉財団「2025 年度社会福祉事業 NPO 基盤強化資金助成 認定 NPO 法人取得資金助成」
- ・公益財団法人 S O M P O 福祉財団「2025 年度社会福祉事業 自動車購入費助成」
- ・公益財団法人 JKA「2026 年度 競輪・オートレースの補助事業」
- ・こくみん共済 coop〈全労済〉「2025 年度地域貢献助成」
- ・公益財団法人大和証券財団「2025 年度(第 32 回)ボランティア活動助成」
- ・社会福祉法人中央共同募金会「ボラサポ・令和 7 年大船渡火災助成」
- ・社会福祉法人中央共同募金会「ボラサポ・令和 7 年 8 月大雨災害助成」
- ・公益財団法人ヤマト福祉財団「2026 年度「障がい者給料増額支援助成金」「障がい者福祉助成金」
- ・公益財団法人大阪コミュニティ財団(OCF)「2026 年度助成」
- ・公益財団法人毎日新聞大阪社会事業団「2025 年度公募助成金」
- ・公益財団法人キリン福祉財団「令和 8 年度「キリン・地域のちから応援事業」「キリン・福祉のちから開拓事業」公募助成」
- ・公益財団法人さわやか福祉財団「2025(令和 7)年度「連合・愛のキャンパ」助成金」
- ・株式会社アイシン「2025 年度アイシングループ NPO 活動応援基金助成」
- ・田辺三菱製薬「手のひらパートナープログラム 第 14 期助成」
- ・公益財団法人国際緑化推進センター「2026 年度緑の募金事業 海外における森林整備・緑化活動助成」
- ・公益信託大野良久記念老人福祉基金「2026 年度助成金」
- ・NHK 厚生文化事業団「第 38 回地域福祉を支援する「わかば基金」助成」

- ・一般財団法人セブン-イレブン記念財団「2026年度環境市民活動助成」
- ・公益財団法人車両競技公益資金記念財団「令和7年度 高齢者、障害者等の支援を目的とするボランティア活動助成」
- ・一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構(POSC)「2026年度 POSC 社会貢献活動支援のための助成」
- ・公益財団法人日本フィランソロピック財団「第3回 LIFULL HOME'S 基金助成」

8 ボランティア活動に関する顕彰への推薦等

1 国・県・市等が行う各種顕彰事業への推薦（ ）内は登録先社協

(1) 第62回名古屋市民間社会福祉事業功労者市長ほう賞

<受賞団体>

●表彰

手話サークルれいんぼう（南区）

さくらさくら名古屋（中川区）

手話サークルあやとり（北区）

●感謝

名古屋市高年大学花水木鯨城会（千種区）

はなみずき（千種区）

愛知みずほ大学瑞穂高等学校青少年赤十字（JRC）部（瑞穂区）

手話勉強会パレット（昭和区）

(2) 令和7年度 愛知県ボランティア活動功労者知事表彰

<受賞団体>

緑鯨城会（緑区）

(3) 令和7年度 ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰

<受賞団体>

手話を習おう会（西区）

9 市域ボランティアネットワーク組織の支援

1 名古屋市おもちゃ図書館連絡会(昭和63年11月設立)

おもちゃ図書館活動の輪を広げ、各おもちゃ図書館が協力し合うことを目的とする。

(1) 構成団体

①図書館19館(3分館含む) ②病院(修理) 4病院 計23団体

(2) 代表

おもちゃ図書館ぴっころ 武田 美和子 氏

(3) 総会

日 時：令和7年5月31日(土)

場 所：名古屋市総合社会福祉会館 6階 多目的活動室

内 容：令和6年度事業報告及び会計報告、令和7年度事業計画及び予算等

(4) 知ってる?おもちゃ図書館 こどもと遊びのフェスティバル

日 時：令和8年1月18日(日) 10:00~15:00

場 所：名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

内 容：①おもちゃ図書館であそんでみよう!

②おもちゃを作ろう!

③おもちゃ病院

④ボードゲームコーナー

⑤ステージイベント

⑥お土産コーナー

参加者：60組169名

(5) 研修会

日 時：令和7年11月25日(火) 10:00~12:00

場 所：名古屋市総合社会福祉会館 6階 多目的活動室

内 容：講話(子どものタイプに合わせたおもちゃ遊び)、各館の情報交換

講 師：株式会社遊ぼ・勝田潔氏

参加者：15名

(6) 定例会

研修会と兼ねる

(7) 世話人会

①日 時：令和7年4月21日(月)

内 容：令和7年度事業検討、総会資料確認

参加者：4名+事務局2名

②日 時：令和7年7月17日(木)

内 容：研修会、こどもと遊びのフェスティバルについて検討

参加者：3名+事務局2名

③日 時：令和7年9月1日(月)

内 容：研修会、こどもと遊びのフェスティバルについて検討

参加者：4名+事務局1名

④日 時：令和7年10月30日(木)

内 容：研修会、こどもと遊びのフェスティバルについて検討

参加者：3名+事務局2名

⑤日 時：令和7年12月1日（月）

内 容：研修会の振り返り、こどもと遊びのフェスティバルについて検討

参加者：4名+事務局2名

⑥日 時：令和8年1月13日（火）

内 容：こどもと遊びのフェスティバルの最終確認

参加者：4名+事務局1名

⑦日 時：令和8年2月24日（月）

内 容：こどもと遊びのフェスティバル、1年間の振り返り、次年度の計画について検討

参加者：4名+事務局1名

(8) その他会議

おもちゃ図書館県市連絡会事務局 県市社協情報交換会（Zoom）

日 時：令和8年3月4日（水）

内 容：全国のおもちゃ図書館支援担当の社協職員同士で情報交換、全国連絡会からの報告

参加者：6都県・市社協+全国連絡会事務局

(9) PR活動

名古屋市子ども・子育て支援センター

平成30年度に団体登録を行い、「情報ガーデン」でリーフレットや会員団体一覧の配架等を行ったり、「名古屋市子育て応援サイト」でも情報掲載勧奨。

(10) 中央図書館の運営

おもちゃ図書館「ともだち」（中央図書館）の活動実績等

- ・会場 市総合社会福祉会館トレーニングルーム（6階）
- ・開館 月3回（第1月曜・第2土曜・第3日曜）延べ30日
- ・例会 9回
- ・利用者 1000人（新規21人）
- ・行事等参加 2回

2 名古屋点訳ネットワーク(NBN)(平成10年6月14日設立)

点訳活動の輪を広げ、各点訳ボランティアが協力し合うとともに、視覚障害者が点訳情報をより入手しやすくすることを目的とする。

(1) 構成団体

39団体・20個人（NBN通信送付先）

(2) 代表

大樹会 中西 和子 氏

(3) 総会

日にち：令和7年7月6日（日）

会 場：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室+オンライン（Zoom ミーティング）併用

内 容：前年度活動報告・決算、活動計画・予算、情報交換

(4) 講演「人と情報につながることから一歩へ～点字とともに 点字となかよし～」

日にち：令和7年7月6日（日）

会 場：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室+オンライン（Zoom ミーティング）併用

内 容：中途失明となられたご自身のお話や、京都ライトハウス鳥居寮における点字訓練の状況・工夫、また利用者さんの様々なニーズとそこに寄り添う活動など

講 師：石川 佳子 氏（京都ライトハウス鳥居寮）

参加者：延べ30名

(5) 交流会

日にち：令和8年3月2日（月）

会 場：大須演芸場

内 容：演芸鑑賞、点訳ボランティア・視覚障害者の交流

参加者：延べ17名

(6) NBN通信の発行（50・51・52号）

3 ガイドネットワークなごや(平成12年10月設立)

ガイドボランティア活動の輪を広げ、各ガイドヘルプボランティアが協力し合うとともに、視覚障がい者の外出支援をより効果的に行うことを目的とする。

(1) 構成団体

4団体

(2) 代表

天白わかば（天白区） 牧田 清乃 氏

(3) 総会

日にち：令和7年4月16日（水）

会 場：梅の花 栄店

内 容：

【総会】前年度活動報告・決算、今年度役員選出・活動計画・予算、

【食事会】ガイドネットワークなごや25周年記念

参加者：24名

(4) ガイドボランティア養成講座

日にち：令和7年6月4日、11日、18日、25日（水）全4回

会 場：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室 ほか

講 師：松山 友美 氏（社会福祉法人名古屋ライトハウス 日々の暮らし相談室）

その他、ガイドネットワークなごやメンバー多数協力

受講者：10名

(5) 研修

【研修会①】

日にち：令和7年11月16日（日）13:30～15:00

会 場：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

講 師：名古屋市総合リハビリテーションセンター

副センター長 鈴木 智敦 氏

自立支援部視覚支援課長 谷 映志 氏

内 容：ボランティアと視覚障害に関するお話

参加者：16名

【研修会②】

日にち：令和8年2月17日（火）10:00～12:15

会 場：名古屋市総合リハビリテーションセンター

講 師：名古屋市総合リハビリテーション事業団

自立支援部視覚支援課主任 鈴木 小有里 氏

内 容：名古屋市総合リハビリテーションセンター 説明、施設見学

参加者：17名

(6) 役員会

7回開催

(7) ガイドボランティアコーディネート実績

受付ニーズ合計：158件

成立件数：108件（実97件）ボランティア活動者数：延べ120名

対応不可件数：55件、依頼取下げ件数：6件

4 名古屋市ボランティア連絡協議会(平成18年3月30日設立)

区ボランティア連絡協議会によって構成され、区ボラ連の情報交換や交流活動、ボランティア活動への参加を促進する活動などを行う。

(1) 構成団体

12団体（各区ボランティア連絡協議会）※ 北区、瑞穂区、熱田区、中川区を除く

(2) 代表

守山区ボランティア連絡協議会 田代 京美 氏

(3) 役員会・例会

- | | | | | | | |
|---|------|-------|-------|-----|------|----|
| ① | 令和7年 | 4月 | 8日(火) | 役員会 | 参加者： | 4名 |
| ② | 令和7年 | 4月25日 | (金) | 例会 | 参加者： | 7名 |
| ③ | 令和7年 | 6月10日 | (火) | 役員会 | 参加者： | 4名 |
| ④ | 令和7年 | 7月18日 | (金) | 例会 | 参加者： | 8名 |
| ⑤ | 令和7年 | 9月30日 | (火) | 役員会 | 参加者： | 3名 |
| ⑥ | 令和7年 | 10月 | 8日(水) | 例会 | 参加者： | 8名 |
| ⑦ | 令和8年 | 1月 | 7日(水) | 役員会 | 参加者： | 3名 |
| ⑧ | 令和8年 | 2月 | 9日(水) | 例会 | 参加者： | 9名 |

(4) 事業等

令和7年12月14日(日) 第8回まなびの場

内容：守山区ボラ連の実践報告、「ウクライナについて学ぼう」

講師：守山区ボラ連会長 田代京美氏、名古屋市国際交流課 サムソノバ・テチアナ氏、名古屋市国際交流課 課長補佐 鵜飼真助氏、レスキューストックヤード 加藤絢子氏、名東高校MCU (Meito Connect Ukraine) の学生の皆さん、JUCA entertainment (JUCA=NPO 法人日本ウクライナ文化協会)

参加者：45名

令和8年2月9日(月) 情報交換会

内容：南区ボラ連35周年記念事業の報告、メンバー同士の交流

参加者：21名

(参考) 各区ボランティア連絡協議会設置状況 (令和8年3月31日現在)

名 称	設立年月	加入数		主な構成団体
		団体	個人	
千種区ボランティア連絡協議会 (事務局：千種区社会福祉協議会)	H14.5	9	1	ボラ団体・個人
東ほっとネット (事務局：東区社会福祉協議会)	H14.3	41	5	ボラ団体・個人・NPO・学校・施設・企業・当事者団体・区役所・生涯学習センター
西区ボランティア連絡協議会 (事務局：西区社会福祉協議会)	H7.8	35	8	ボラ団体・NPO 団体・ 福祉施設・個人
中村区ボランティア連絡協議会 (事務局：中村区社会福祉協議会)	S63.9	5	-	ボラ団体・NPO 法人
ボラネットなかまんなか (事務局：中区社会福祉協議会)	H14.10	13	-	ボラ団体のみ
昭和区ボランティア連絡協議会 (事務局：昭和区社会福祉協議会)	H6.9	19	-	ボラ団体・福祉関係施設・当事者団体
港区ボランティア連絡協議会 (事務局：港区社会福祉協議会)	H14.4	11	8	ボラ団体・個人
南区ボランティア連絡協議会 (事務局：南区社会福祉協議会)	H2.9	16	-	ボラ団体のみ
守山区ボランティア連絡協議会 (名古屋守山ロータリー地域社会共同隊) (事務局：守山区社会福祉協議会)	H8.11	15	-	ボラ団体のみ
ボラネットみどり (事務局：緑区社会福祉協議会)	H12.3	15	3	ボラ団体・個人・NPO 団体
名東区ボランティア連絡会 (事務局：名東区社会福祉協議会)	S61.6	8	-	ボラ団体のみ
ふれ愛ネット天白 (事務局：天白区社会福祉協議会)	H9.3	15	0	ボラ団体・福祉施設・当事者団体・当事者支援団体・NPO

※あつたボランティアねっと (事務局：熱田区社会福祉協議会 H18.3 設立～H28.6 で解散)

5 名古屋市傾聴ボランティアの会(平成26年6月設立)

会員相互の連携を図るとともに、市民の傾聴ボランティア活動に対する理解を深め、傾聴ボランティア活動への参加の促進を通して、地域福祉の推進に寄与することを目的とする。

(1) 構成団体

11 団体

(2) 代表

地域ボランティアかがやき 近藤 京子氏

(3) 例会

<第1回>

日時：令和7年6月27日(金) 10:00～12:00

場所：名古屋市総合社会福祉会館7階 研修室

内容：総会(令和6年度事業報告・決算、令和7年度事業計画・予算等)

テーマ「交流」(担当：ひまわり、みみちゃん)

情報交換

参加者：10団体35名

<第2回>

日時：令和7年9月26日(金) 10:00～12:00

場所：名古屋市総合社会福祉会館7階 研修室

内容：協議・検討(高齢者就業支援センター主催講座への協力について等)

テーマ「事例発表①」(担当：かがやき、こころん昭和)

情報交換

参加者：10団体40名

<第3回>

日時：令和7年12月26日(金) 10:00～12:00

場所：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

内容：協議・検討(研修会について等)

テーマ「グループ運営」(担当：きたちゃん、西うさぎ、うさぎの耳)

情報交換

参加者：10団体36名

<第4回>

日時：令和8年3月27日(金) 10:00～11:30

場所：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

内容：協議・検討(総会準備、令和8年度の活動について等)

情報交換

参加者：9団体33名

(4) 企画運営委員会

令和7年6月27日(金)、8月27日(水)、12月25日(金)、令和8年2月27日(金)

(5) ボランティア養成講座

<第1回>

日 時：令和7年9月29日(月) 13:30~15:30

テーマ：傾聴ボランティアの「依頼」から「活動」までの流れを知ろう！

参加者：82名

<第2回>

日 時：令和7年10月6日(月) 13:30~15:30

テーマ：傾聴ってなんだろう？傾聴について学んでみよう！

参加者：96名

<第3回>

日 時：令和7年10月20日(月) 13:30~15:30

テーマ：聴き上手になるために…ロールプレイを通じて上手な聴き方を学ぼう！

参加者：88名

<第4回>

日 時：令和7年10月27日(月) 13:30~15:30

テーマ：実際に活動している人の話を聞いてみよう！

参加者：83人

(6) 企画運営委員会

令和7年5月30日(金)、6月27日(金)、7月29日(火)、8月27日(水)、10月6日(金)、12月5日(金)

(7) 研修会

テーマ：父（認知症専門医 長谷川和夫）との対話～気持ちを伝えあうケア・暮らしの中で学んだこと～

日 時：令和8年3月27日(金) 13:30~15:30

会 場：名古屋市総合社会福祉会館7階 大会議室

講 師：南高 まり氏(精神保健福祉士)

参加者：12団体104名(うち一般参加31名)

(8) その他

<「傾聴講座」体験説明会協力(講師) 主催：名古屋市高齢者就業支援センター>

日 時：令和8年1月30日(金) 14:00~16:00

内 容：「傾聴ボランティア活動について説明」

協力者：9団体19名

10 福祉教育・ボランティア体験学習の推進

1 福祉学習サポーターの拡充

福祉学習サポーターの目的・役割を改め養成していくとともに、区社協と福祉学習サポーターが協働し、学校のみでなく、地域における福祉教育・学習を推進する。

(1) 養成目的

地域で福祉学習を推進する協力者として、自身の体験・経験を参加者に伝え、参加者が地域の課題等に気づき、自ら解決に取り組むように働きかけるメンバーを養成する。

(2) 福祉学習サポーターの役割と3つの力

参加者が福祉意識・共生意識を高めることのできる内容を伝える。

①作り出す力（プランニング）

参加者の学びを深めるプログラムの内容を区社協等と共に検討する力。

②伝える力（プレゼンテーション）

自身の経験から参加者の共生意識が深まる内容、メッセージを自らの言葉で伝える力。

③振り返りを深める力（リフレクション）

体験学習で終わらず、効果的な振り返りを通して、参加者の学びを深める力。

(3) 養成実績

13名

〈令和7年度養成人数〉（カッコ内：平成27～令和6年度までのサポーター総数） 計257名

千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂
0(23)	0(10)	0(14)	1(9)	0(16)	1(16)	0(24)	0(18)
熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白
2(9)	1(15)	1(20)	0(14)	2(14)	1(16)	3(15)	1(11)

(4) 事業スケジュール

日にち	内 容
4月30日	新担当者向け区社協福祉教育担当者会 ◆内容 ・福祉教育の目的や必要性について ・福祉教育事業について ・福祉教育プログラムについて ・情報交換
5月26日	第1回区社協福祉教育担当者会 ◆内容 ・今年度の福祉教育の取り組みについて ・情報交換
8月29日	【第1部】 地域共生社会の実現に向けて 学校や地域で育む福祉のセミナー ～福祉教育・福祉学習からはじまる地域づくり～ 【公開講演会】共に生きる力を育む福祉教育

	<p>日本福祉大学 社会福祉学部 教授 野尻 紀恵氏</p> <p>参加者：65名</p> <p>【第2部】</p> <p>令和7年度 福祉学習サポーター養成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉教育の取組みと福祉学習サポーターについて ・実践事例発表（NPO法人きらら ともにハウス管理者 石塚博幸氏） ・名東区社会福祉協議会の実践事例発表 ・グループワーク「福祉教育プログラム作り」 <p>参加者：48名</p>
1月13日	<p>福祉学習サポーターフォローアップ研修</p> <p>【講演】 障害を理由とする差別の解消について</p> <p>講師：名古屋市障害者差別相談センター</p> <p>【実践報告】</p> <p>千種区社会福祉協議会</p> <p>【グループワーク①】</p> <p>実践報告についてグループ内で感想共有</p> <p>【グループワーク②】</p> <p>サポーターとしての活動状況の共有や各区の困りごとやその解決方法について話し合い</p> <p>参加者：36名</p>
3月21日	<p>福祉教育のつどい</p> <p>～「ともに生きる」地域を目指して～</p> <p>【主催】</p> <p>福祉教育のつどいワーキンググループ</p> <p>【共催】</p> <p>愛知県社会福祉協議会・名古屋市社会福祉協議会</p> <p>◆内容</p> <p>【第1部】</p> <p>講演 ①講師：上口 美弥子氏 （一般社団法人あいち発達障害サポートネットワーク代表理事）</p> <p>②講師：大橋 那奈子氏 （AJU 自立の家障害者ヘルプステーション・マイライフ）</p> <p>【第2部】</p> <p>しゃべり場（講演の深掘りとグループワーク）</p>

2 なごや出張福祉学習

地域住民の福祉意識や共生の意識を高めるため、市・区社協職員（専門職員を含む）が推進協・施設・大学・企業等、地域に出向いて福祉学習の機会を創出する取り組み。

<実績>

なごや出張福祉学習の実施回数および参加者数等集計結果（令和7年度累計）									
	実施件数	学 習 内 容							参加人数
		計画説明	社協概要	ボランティア関係	つきが（居場所・仲間等）	地域福祉関係	認知症・介護関係	福祉教育プログラム	
千種区	4				2	1	2		104
東区									
北区	6	3	5	3		1	1	1	141
西区	3				1		2		49
中村区	2						2		70
中区	3		1		1		1	1	72
昭和区									
瑞穂区	10			4		1	9		279
熱田区	1		1	1					150
中川区									
港区	9					2	3	4	233
南区									
守山区	1		1				1	1	16
緑区									
名東区	4		1	1	1		3	2	333
天白区	5		1			1	4		127
市社協	10			10					752
権利擁護	112					56		56	5,402
障害者差別	27						27		1,090
7年度 全市合計	197	3 1.4%	10 4.6%	19 8.7%	5 2.3%	62 28.3%	55 25.1%	65 29.7%	8,818

3 福祉教育・ボランティア学習の実施

(1) 対象

市内の小・中・高・特別支援学校、地域団体

(2) 福祉教育・ボランティア学習の実施回数および参加者数等集計結果

福祉教育・ボランティア学習の実施回数および参加者数等集計結果 <令和7年度累計>																		
	実施件数	実施プログラム数	実施プログラムメニュー内訳									参加人数	体験者人数	対応状況				
			車いす	手話	点字	ガイドヘルプ	高齢者疑似体験	講演・講話	交流	活動	ワーク・実地			その他	職員派遣	協力者の調整	体験資機材等の提供	授業内容の提案・検討
千種区	12	39	6		2	6	1	12	1	9	2	2,494	1,849	12	8	11	1	
東区	4	9	2		1	1		3		2		555	483	4	4	3	4	
北区	10	25	2	2		3	4	9	4		1	1,237	1,137	10	8	9	6	
西区	42	101	5	7		7	1	26	27	25	3	4,547	4,483	41	35	18	38	3
中村区	7	21	1	3	1	2	3	6		2	3	939	939	7	7	5	6	
中区	23	47	5	2	2	5		9	15	4	5	1,636	1,493	23	19	11	18	2
昭和区	8	17	2	1			1	5	4		4	1,625	929	8	6	2	2	5
瑞穂区	4	16	3			1	3	4	4		1	908	897	3	4	3	2	
熱田区	10	18	4	1	3	1	2	4	2		1	1,182	1,055	10	8	7	1	
中川区	26	54	5	9	2	7	1	22	4		4	2,705	2,705	25	20	7	2	1
港区	28	85	5	4	1	5	4	20	21	24	1	2,034	2,034	28	23	17	2	
南区	15	36	4	1	2	1	3	13	5		7	1,335	1,335	14	13	9	11	1
守山区	12	26	3		1	9	2	11				1,376	1,374	10	11	10	12	
緑区	20	43	2	6	5	4	4	15	3	3	1	3,790	3,588	19	18	15		
名東区	12	25	2	2		4	2	10		4	1	3,327	3,317	11	10	8	11	1
天白区	9	10	1	1		4	3	1				776	774	9	9	7		
7年度 全市合計	242	572	52	39	20	60	34	170	90	73	34	30,466	28,392	234	203	142	116	13
			9.1%	6.8%	3.5%	10.5%	5.9%	29.7%	15.7%	12.8%	5.9%							

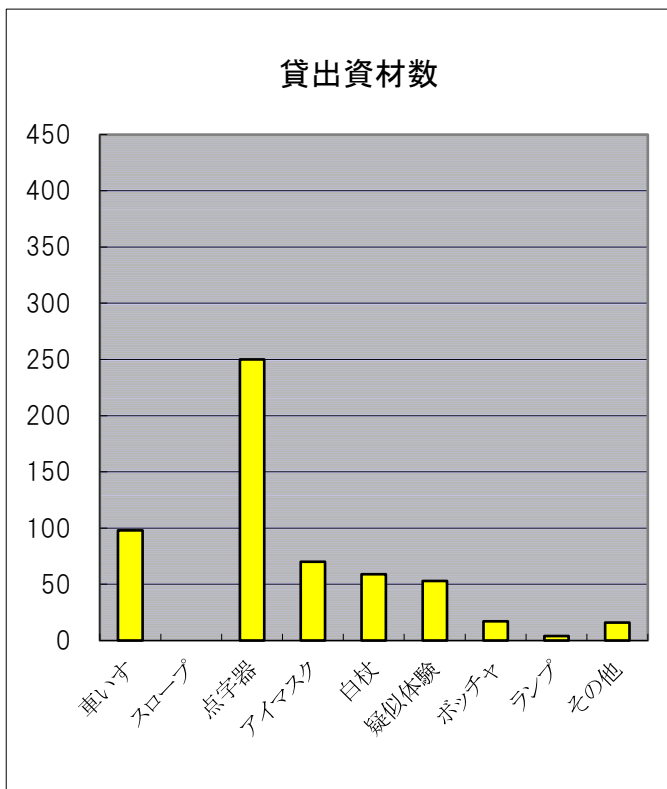
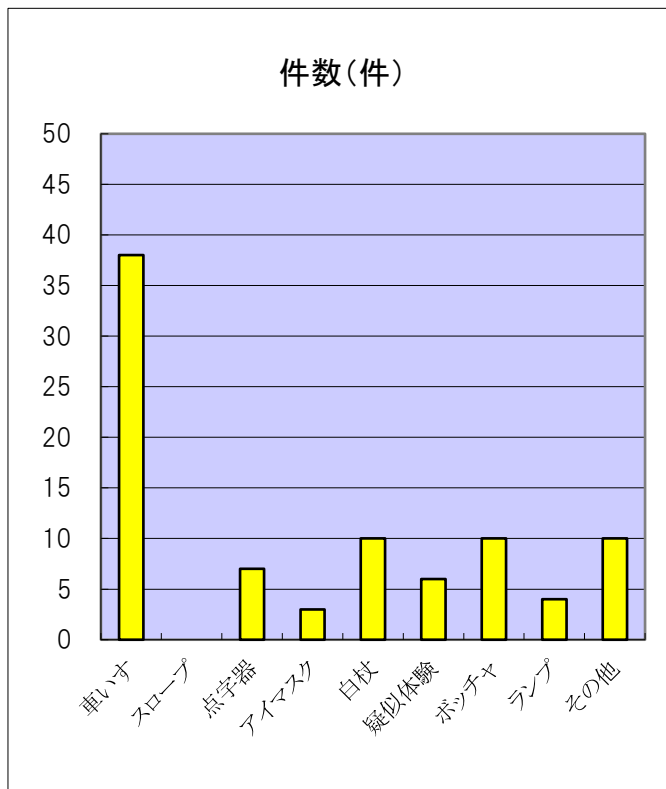
4 福祉教育等資材の貸出し

学校等で行う福祉体験学習に対して、以下の資材の貸出しを行った。

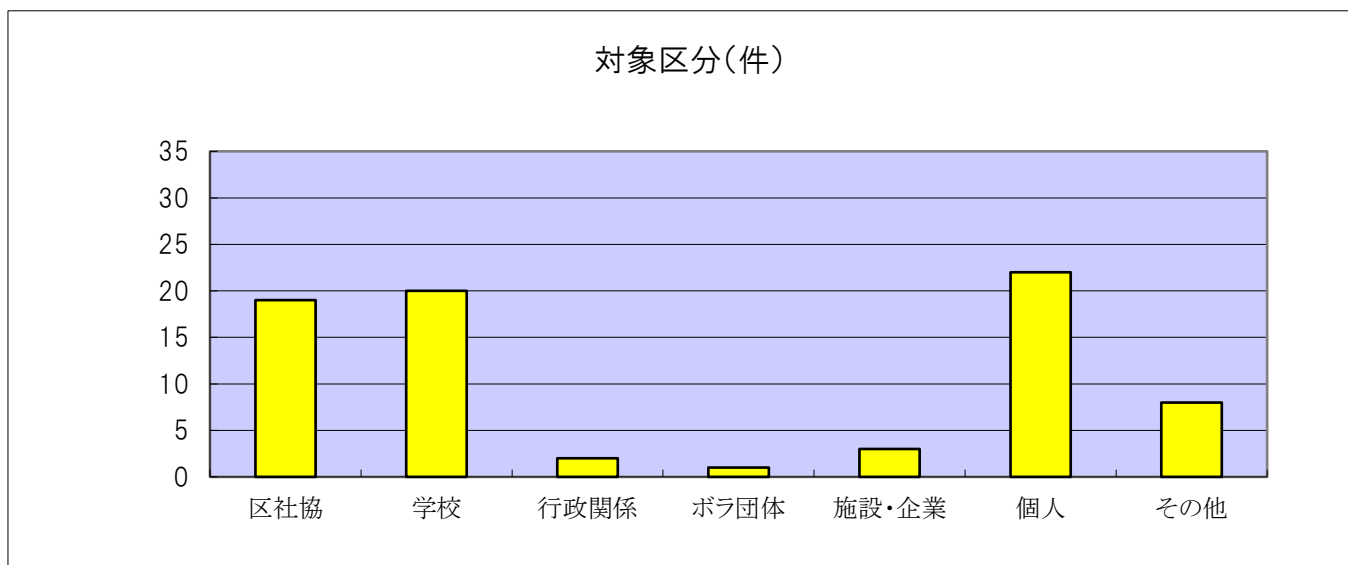
資 材	資 材 数	貸出件数
車いす	32台	38
車いす用スロープ	3セット	0
点字器	230個	7
アイマスク	100個	3
白杖	10本	10
高齢者疑似体験セット	21セット	6
ポッチャ	6セット	10
ランプ	1セット	4
その他（ポッチャコートほか）		10

<福祉教育等資材貸出実績>

【貸出資材】	車いす	スロープ	点字器	アイマスク	白杖	疑似体験	ポッチャ	ランプ	その他	計
件数(件)	38	0	7	3	10	6	10	4	10	88
貸出資材数	98	0	250	70	59	53	17	4	16	567



【対象区分】	区社協	学校	行政関係	ボラ団体	施設・企業	個人	その他	計(件)
全体	19	20	2	1	3	22	8	75



5 福祉読本「ともに生きる」の発行

児童期から社会福祉への理解と関心を高め、社会連帯の精神を養うことを目的に、道徳や特別活動における参考資料としての冊子を作成し、配布するもの。

(1) 配布対象

名古屋市内の全小学校及び特別支援学校の5年生と教員

(2) 作成部数

22,000部

(3) 内容

- ① ふれあう ささえあう いろいろな人とかかわりあうわたし・身近な人々とかかわる・
地域を知ろう・ふだんのくらしのしあわせ
- ② とともに生きる 幼児とともに・お年寄りの方とともに・障がいのある人とともに
- ③ 福祉でまちづくり 人にやさしいまちづくり・はじめてみようボランティア・
福祉をささえる

11 災害ボランティア活動の推進

1 災害ボランティア関係団体との連携

(1) 「なごや災害ボランティア連絡会」への参画

名古屋市と締結している「災害時における一般ボランティアの受入活動に関する協定書」に基づく関係機関が、平常時からの連携とネットワーク化を図ることを目的とした連絡会に、常任幹事として参画

(2) 災害ボランティアコーディネーターなごや総会等への参加

(3) 名古屋市災害ボランティアコーディネーター養成講座への協力

名古屋市が実施する養成講座への企画・実施に協力

★「なごや災害ボランティア連絡会」構成団体

認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード、各区災害ボランティア団体16団体、災害ボランティアコーディネーターなごや、あいち防災リーダー会名古屋ブロック、名古屋市、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、公益財団法人名古屋国際センター

★市内の災害ボランティアネットワークの設置状況

(設立順)

No.	区域	団体名	設立年月
1	市全域	災害ボランティアコーディネーターなごや	H14.11
2	守山	防災ボラネット守山	H15.8
3	港	名古屋みなと災害ボランティアネットワーク	H15.11
4	緑	名古屋みどり災害ボランティアネットワーク	H16.4
5	北	名古屋きた災害ボランティアネットワーク	H16.6
6	天白	天白でいぷり	H16.8
7	名東	名東区災害ボランティアの会	H17.3
8	東	名古屋ひがし防災ボランティアネットワーク	H17.5
9	南	名古屋みなみ災害ボランティアネットワーク	H18.2
10	中川	名古屋なかがわ災害ボランティアネットワーク	H18.12
11	瑞穂	名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク	H19.8
12	西	なごやにし防災ボランティアの会	H19.8
13	昭和	なごや防災ボランティアネットワーク昭和	H19.11
14	中村	なごや中村災害ボランティアネットワーク	H21.3
15	中	なごや防災ボランティアネットワークなか	H21.7
16	熱田	あつた災害ボランティアネットワーク	H21.9
17	千種	災害ボランティアちくさネットワーク	H21.12

2 災害ボランティアセンター三者合同研修

災害ボランティアセンターの設置・運営においては、市・区役所、市・区社会福祉協議会、災害ボランティアの連携・協働が重要であり、平成18年度からその三者が一堂に会する研修を実施してきた(平成23年度は中止)。当年度は、近年の災害において重要性が認識されている情報共有会議などを通じた、多様な団体の連携による被災者支援について学び、また、災害ボランティアセンターの運営における課題についての協議や情報共有を行うことを目的として開催した。

(1) 担当者研修会(災害VC初期対応チーム員研修と合同で開催)

日時：令和7年10月28日(火)、29日(水) 10:00~17:00

場所：名古屋市総合社会福祉会館7階 中会議室

内容：「災害ボランティアセンターマネジメント研修」

講師：埼玉県社会福祉協議会	熊井 英朗 氏
岩手県社会福祉協議会	加藤 良太 氏
宇和島市社会福祉協議会	清家 正崇 氏
静岡市社会福祉協議会	大澤 佑介 氏
事務局：全国社会福祉協議会	由利 侑那 氏
ダイナックス都市環境研究所	橋本 慎吾 氏
〃	飯嶋 麻里 氏

参加者：37名(区社協等20名/災害VC初期対応チーム員10名/県社協1名/名古屋市1名/市社協6名)

(2) 当日

日時：令和7年12月6日(土) 9:30~16:30

場所：北区役所2階 講堂 等

内容：●基調講演「災害VCの実際とNPOとの連携」

パネリスト：(福)穴水町社会福祉協議会 橋本 みすず 氏

(公社)ピースボート災害支援センター 大塩 さやか 氏

講師：(認特)レスキューストックヤード 代表理事 栗田 暢之 氏

●情報共有「災害ボランティアセンターについて」

「災害VC立ち上げまでのタイムライン(三者の動き)」

●意見交換、基調講演・対談に関する質疑応答 等

主催：なごや防災ボラネット、名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

参加者：205名(なごや防災ボラネット：67名、市・区役所：28名、市・区社協39名、SeRV・名古屋青年会議所等外部支援者：16名、災害対策委員15名、民生委員児童委員：40名)

3 愛知県社協「市町村社協災害対応支援部会」への参加

愛知県社協「市町村社協災害対応支援部会」へ委員として職員を推薦、会議に参加
愛知県社協「kintoneワーキンググループ」へ委員として職員を推薦、会議に参加

4 被災者支援ボランティアセンターなごやの運営

東日本大震災及び能登半島地震の発生を受けて、名古屋市に避難されている方の支援と被災地域におけるボランティア活動希望者への情報提供等を目的に、センターを運営。

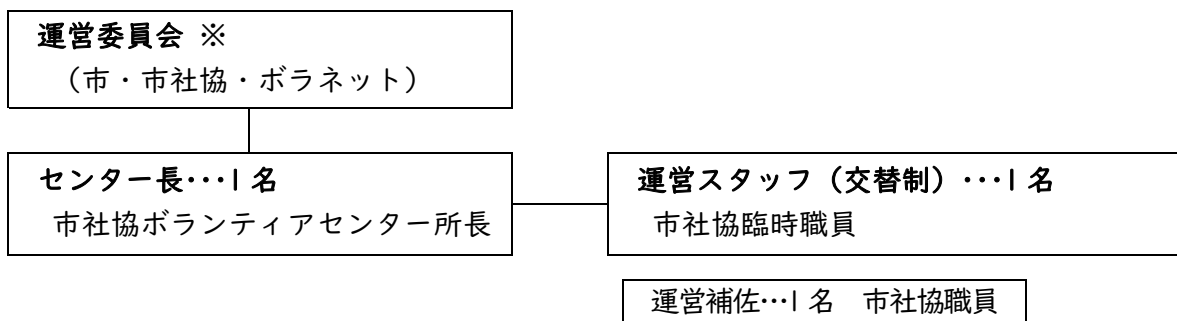
(1) 概要

設置主体	名古屋市（以下「市」という。）
運営主体	名古屋市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）
運営協力	なごや防災ボラネット（以下「ボラネット」という。）
開設日	平成23年4月14日(木)
開設時間	午前9時～午後5時（※土・日・休日を除く）
開設場所	名古屋市総合社会福祉会館5階 名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター内

(2) 機能

- ①市内にお住まいの被災者の生活支援に関するニーズの把握とボランティアによる支援
- ②被災地域におけるボランティア活動を希望する方に対する相談、情報提供

(3) 運営体制



※運営委員会委員 (5名)

市社協事務局長	柄澤 克彦
なごや防災ボラネット(名古屋ひがし防災ボランティアネットワーク代表)	小野 月比古 氏
なごや防災ボラネット(認定NPO法人レスキューストックヤード代表理事)	栗田 暢之 氏
名古屋市市民活動推進センター 所長	伊藤 葉子 氏
市健康福祉局高齢福祉部地域共生推進課長	原 優介 氏

①運営委員会【開催実績】

回	日時・場所	人数	内容(議題等)
1	令和7年5月30日(金) 15時30分～17時00分 レスキューストックヤード 事務所	5名	・令和6年度センターの運営実績について ・令和7年度センターの運営について ・令和8年度以降の復興施策の動向等について ・能登半島地震及び奥能登豪雨の現況・課題 避難者支援における課題等について
2	令和8年1月16日(金) 10時00分～11時30分 名古屋市総合社会福祉会館 6階 多目的活動室 及びZoom (ハイブリッド)	5名	・センターの運営状況等について ・アンケートと訪問で把握した被災者の状況について ・来年度からのセンターについて ・令和8年度のセンターの設置・運営について

② 窓口開設日数

合計 242 日（開設以来のべ 3,636 日）

③ 関係会議

- ・被災者支援ボランティアセンターなごや連絡会…年 4 回開催
- ・お茶っこサロン実行委員会…年 2 回開催
- ・県・市センター連絡会…毎月 1 回開催

(4) 運営実績

① 相談実績

被災者からの相談	東日本大震災 140件 能登半島地震 144件	内訳 [ニーズ受付] 東日本大震災 38件 能登半島地震 49件 [情報提供] 東日本大震災 102件 能登半島地震 95件
ボランティア活動希望(個人)	2件	内訳 [登録] 0件 [情報提供] 2件
ボランティア活動希望(団体)	0件	内訳 [登録] 0件 [情報提供] 0件
物資提供希望	3件	
語り部活動依頼	24件	
その他	133件	
(相談件数) 合計	446件	内訳 [来所] 25件 [訪問] 51件 [電話] 370件
★開設以降の (相談件数) 累計	7,917件	

② 市内での活動実績

市内での活動実績	ボランティア活動件数 3 件（延べ活動者数 3 名） お茶っこサロン協力 1 回（延べ活動人数 9 名） じんのび能登カフェ協力 3 回（延べ活動人数 6 名） 職員活動（訪問等）件数 51 件（延べ職員数 51 名）
★開設以降の市内での活動実績	活動件数 821 件（延べ活動者数 1,042 名） お茶っこサロン協力 64 回（延べ活動人数 1,018 名） じんのび能登カフェ協力 6 回（延べ活動人数 12 名）
語り部ボランティア活動実績	活動件数 19 件 受講者 541 名 (令和 3 年以降の累計 92 件 受講者 2,311 名)

③ 区社協に対するケース引継・情報共有

全世帯へアンケート回答お礼時に、地元の区社協やいきいき支援センターなどの情報も併せて提供。

④ センターを通じて被災者に提供したもの及び招待事業

- ・ 随時 レトルト食品・紙おむつなど(各区社協を經由して寄付)…訪問時に提供
- ・ 12 月 お菓子 (レスキューストックヤードを經由して明治製菓)…訪問時に子どもへの手土産

⑤センター運営等に関するアンケート実施

・QUOカードとともに、近況やセンターの運営に関するアンケートを送付。現在、名古屋での生活で悩んでいること、相談先を知っているか、近所づきあいや地域活動への参加、その他ロータリークラブへのメッセージ（能登半島地震避難者の方のみ）などを聞いた。

■東日本大震災避難者 104 世帯に手交・送付し、51 世帯から回答あり（回収率 49%）

■能登半島地震避難者 11 世帯に手交・送付し、5 世帯から回答あり（回収率 45.5%）

⑥情報発信実績

●センターホームページでの情報発信

(<https://nagoya-shakyo.jp/service/volunteer-disaster/>)

●「センターからのお知らせ」（被災者向け情報紙）発行実績

令和7年4月～令和8年3月＜隔月発行＞ 通算6号（第155号～第160号）発行

⑦「お茶っこサロンなごや」の開催

東日本大震災被災者の交流やリフレッシュの場として、年2回「お茶っこ（東北の言葉で「お茶をする」の意味）サロンなごや」を開催。うち、1回は愛知県被災者支援センター、当事者グループめぐりあいの会との共催で実施。企画及び運営には、「お茶っこサロンなごや実行委員会」（ボランティア）に協力いただいた。

<開催実績>

	日にち	会場	参加世帯数	参加人数	（参加者内訳）	
					大人	子ども
第64回	12/21（日）	東部地域療育センターぼけっと（千種区）	15	25	20	5
第65回	3/7（土）	楽陶館（名東区）	9	14	11	3
令和7年度合計			24	39	31	8
合計（開始以来の延べ数）			726	1,632	924	708

⑧「じんのび能登カフェ」の開催

能登半島地震被災者の交流やリフレッシュの場として、年4回「じんのび（能登の言葉で「のんびり、くつろぎ」の意味）能登カフェ」を開催（能登半島地震避難者支援ネットワークあいちと共催）。うち、1回は「お茶っこサロンなごや」と合同で実施。当日運営は、なごや防災ボラネット会員等ボランティアに協力いただいた。

	日にち	会場	参加世帯数	参加人数	（参加者内訳）	
					大人	子ども
第5回	6/15（日）	戸田川緑地（港区）	6	12	12	0
第6回	10/13（月・祝）	名古屋建設業協会（東区）	13	24	18	6
第7回	12/21（日）	東部地域療育センターぼけっと（千種区）	9	16	13	3
第8回	3/21（土）	東別院（中区）	11	21	16	5
令和7年度合計			39	73	59	14
合計（延べ数）			60	105	90	15

⑨「語り部派遣事業」の実施

名古屋へ避難されてきた方による語り部の派遣事業を実施。当時の被災体験や、今に至るまでの道のりを当時の写真や資料を示しながら伝えるとともに、今後災害を迎えるであろう名古屋に住む人たちへのメッセージを伝えることで一人一人の防災意識を高め、被災者への理解を深める機会とすることを目的としている。

5 災害ボランティアセンター初期対応チームの運営

発災直後の混乱や人手不足の中において、初動の遅れを防ぎ、災害 VC の立ち上げと運営を早期に軌道に乗せる役割、及び被災地災害 VC への組織的な支援に対応するため、職員個人の知識・経験に基づいた、所属や業務内容によらない応援体制の構築を目的にチームを創設。

平時から研修会等に参加し、資質向上を図るとともに、チーム員同士で名古屋市における課題、課題に対する取組みについて検討を行う。

今回のチーム員募集では、10名の職員がチーム員として参加していただけた。今後のチーム員の追加募集については、3年に1回程度状況に応じて募集を行う。(次回は令和10年の予定)

①チーム員会議の開催

(第1回) 令和7年9月9日

(第2回) 12月10日

(第3回) 令和8年3月10日

②各種研修への参加

- ・災害 VC 三者合同研修
- ・災害 VC マネジメント研修
- ・災害時の連携を考える全国フォーラム
- ・災害ケースマネジメント研修

6 在宅避難者支援に関する勉強会

なごやか地域福祉 2029 の方策に基づき、被災時の要配慮者への対応を行う関係機関・団体の方々と在宅避難に必要な支援を展開するための連携・協働体制の構築のための勉強会を実施。

(第1回) 令和7年9月10日

「能登半島地震の被災状況と官民連携について」

講師：珠洲市役所 令和6年能登半島地震復旧復興本部 健康サポート推進室

室長 三上 豊子 氏

「能登半島地震における個別ケースへの支援について」

講師：認定 NPO 法人 レスキューストックヤード

常務理事 浦野 愛 氏

(第2回) 令和8年1月19日

「災害対策基本法等の改正について」

講師：内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(避難支援担当)付

参事官補佐 木村 圭佑 氏

「防災庁設置に向けたこれまでの動き～防災庁設置準備アドバイザー会議より～」

講師：認定 NPO 法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

認定 NPO 法人 レスキューストックヤード

代表理事 栗田 暢之 氏

12 地域の支え手応援事業

地域福祉リーディングモデル事業として実施してきた事業を、財源がなくなった令和元年度で終了し、あらためて後継事業として企画した。

地域の支えあい活動、課題解決活動への参加、立ち上げや継続を応援する事業で、「住民の地域活動参加支援（マンパワーサポート）事業」「地域の困りごと解決応援助成（ファンドサポート）事業」「活動継続応援（アクションサポート）事業」の3事業を連動させながら実施し、人材養成から事業の企画準備・実施を支援している。

※「地域の困りごと解決」とは…

一人ひとりの生活上の困りごとを解消するために、地域住民の力で行う取り組み

（1）住民の地域活動参加支援（マンパワーサポート）事業

●ぼらマッチ！なごや ※再掲

（2）地域の困りごと解決応援助成（ファンドサポート）事業

助成団体募集・決定

●応募数10団体、助成決定数3団体

面接審査（事務局審査）：令和8年2月20日（金）

団体名	事業名	事業内容
男塾	高齢者、社会的弱者への生活支援、相談事業	南医療生協、地域から出されるおたがいさまシート、他、様々な困りごとを相談、生活支援を高齢の男たちの力で解決をし、すべて無償で行い、地域の方々とのつながりを作り、より多くの方々の協力で一人の困ったに寄り添う。
おさがり交換会 わらしべ	子育て家庭の困りごと相談支援事業	おさがり交換会の開催に併せて、子育て中の家庭が日常の困りごとや不安を気軽に相談できる場を設け、孤立しがちな家庭の早期把握と不安の軽減を図る。また、外出が難しい家庭や会場参加が困難な場合には、訪問によるおさがりの提供と傾聴対応を行い、必要に応じて地域資源や支援につなげる。
気軽にすけっと	地域住民との連携及び宣伝活動事業	地域住民の日常生活の困り事について援助し、また地域での子育ての一環として農業体験で職を考える機会とし、ワークショップやイベントの開催で事業の浸透を図っていく。

（3）活動継続応援（アクションサポート）事業

①「地域の子ども応援事業・地域の支え手応援事業 成果報告会」の開催

日時：令和7年6月28日（土）10:00～12:00

場所：総合社会福祉会館 大会議室

内容：●第1部：団体・事業紹介、成果報告

5～6名ほどのグループに分かれて自身の団体・事業紹介及び令和6年度の成果報告を実施。

●第2部：情報交換会

参加者：助成団体23団体31名（うち支え手応援助成団体：13団体17名）

②合同勉強会の開催

日時：令和8年3月17日（火）13:30～15:00

会場：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

内容：●勉強会：「AI秘書に手伝ってもらおう」（講義、交流、ワーク）

講師：NPO法人デジタルライフサポーターズネット

理事長 友次 進 氏

参加者：助成団体…3団体3名（うち該当助成団体2団体2名）

③ NPO 法人による無料個別相談の開催

随時実施 相談件数 0件

④ 助成団体の事業進捗状況把握、助言等

随時実施

13 市・区社協ボランティアセンターの機能強化

1 区社協ボランティアコーディネーター連絡会・研修会

(1) 新任者研修

日時：令和7年5月1日（木） 13時30分～16時

方法：Zoom ミーティング（オンライン開催）

内容：ボランティアセンターの各種事務について

ボランティア登録の種別／登録ボランティア活動状況調査について など

参加者：7区社協9名、市社協4名

(2) 第1回連絡会

日時：令和7年7月2日（水） 14時～17時

場所：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

内容：市社協ボラセンの現状と課題、市社協ボラセンの事業概要と各事業等について、ボランティア登録カード改訂と「なごやボラねっと」の投稿について

情報交換・意見交換（今年度のボラコ顔合わせ、テーマ：各区社協の取り組み＋他区に聞きたいこと）

参加者：11区社協12名、市社協5名

(3) ボランティアコーディネーター研修会

日時：令和8年2月6日（金） 14時00分～17時15分

場所：名古屋市総合社会福祉会館6階 多目的活動室

内容：ボランティアコーディネーターの参考になる実践の紹介や具体的なアドバイスなど

講師：特定非営利活動法人ボラみみより情報局 代表理事 織田 元樹 氏

参加者：12区社協14名、市社協5名

2 愛知県社協主催「愛知県ボランティアコーディネーター養成講座」受講勧奨

ボランティアコーディネートをを行っている職員対象に受講を勧奨（市社協にて参加費負担）

1区社協1名、市社協1名

3 機能強化に関連する各種指針・マニュアル等の整備と啓発

(1) 名古屋市・区社協ボランティアセンター機能強化指針（平成26年2月策定）

(2) ボランティアセンター事務マニュアル（平成30年3月発行）

(3) ボランティアコーディネーターハンドブック（平成27年3月発行）

(4) 区社協ボランティア担当者の役割整理（令和元年度発行）

上記いずれも「区社協ボランティアコーディネーター連絡会」等で紹介、啓発

14 他機関との連携・協力、ボランティア活動に関する調査・研究

1 名古屋市市民活動推進センターとの連携・協力

(1) ぼらマッチ！なごや ※再掲

2 大学等との連携・協力「大学ラウンドテーブル」

学生による地域福祉活動を推進していくためのイベント実施に向けて年5回会議を行い検討。

① 参加大学

愛知大学（学生課）、愛知学院大学（社会連携センター、研究推進・社会連携課）、愛知淑徳大学（コミュニティ・コラボレーションセンター）、愛知東邦大学（地域・国際交流課、学生・キャリア支援課）、中京大学（学生サポートセンター、学生支援課）、同朋大学（事務部）、名古屋学院大学（社会連携センター）、名古屋市立大学（学生課学生支援係）、名城大学（学務センター）、名古屋柳城女子大学・短期大学（総合企画部）、日本福祉大学（全学教育センター）、藤田医科大学（学務部学生支援課）

② 会 議

第1回……………令和7年5月2日（金）
第2回……………令和7年9月10日（水）
第3回……………令和7年12月11日（木）
第4回……………令和8年3月4日（水）

③ イベント

●大学ポッチャ交流会

日 時：令和7年6月21日（土）13：30～16：30
場 所：愛知東邦大学 L棟 4A階 LCホール
内 容：ポッチャを通じて他大学の学生や障がい当事者、シニアと交流
参加者：学生 41名 障がい当事者 6名 名東区在住のシニア 9名
昭和区在住のシニア 3名

●大学訪問

日 時：令和7年12月11日（木）16：00～17：30
場 所：名城大学 天白キャンパス
内 容：大学ラウンドテーブルメンバーによる大学訪問、施設見学、情報交換
参加者：15名

3 市民への意識調査の実施及び参加支援

年々、地域住民のコミュニティ意識が希薄化する中、地域コミュニティの崩壊抑止と地域福祉活動を推進するための協力者を確保するため、また、今後さらに増加が見込まれる生活支援ニーズに対応する活動者を増やすために、なごやか地域福祉2020方策⑤「多様な主体の参加促進」の取り組みとして、市民意識調査を令和3年度から令和4年度にかけて行った。調査の集計をしたところ、活動者を増やすためには広報の強化と参加のハードルが低いボランティアプログラムの開発が必要と結果が出た。そのため、令和5年度はこの2つについて取組み、事業等の周知先を分野ごとに取りまとめた一覧表の作成と参加のハードルが低いボランティアプログラムを2つ作成・実施した。令和7年度は「ぼらマッチ！なごや」にて参加支援を行った。

4 他機関・団体等への講師派遣の状況

(参加者数は概算)

期 日	事業名	講義内容など	対象者	参加者数(人)	主 催
R7.4.14	認知症予防リーダー向け研修	ボランティアについて	市民	12	高岳福祉会館
R7.9.20	防災・減災カレッジ Vco コース	災害 VC 設置・運営等	県民	38	あいち・なごや強 靱化共創センター 等
R7.9.25	NPO 団体での講話	ボランティアや地域 福祉活動・相談窓口・ 施設について	市民	25	NPO 法人生涯学習 ネットワーク中部
R7.10.11	災害ボランティア コーディネーター 養成講座	社協と災害ボラン ティアコーディネーター との関わり	市民	47	名古屋市スポーツ 市民局
R7.11.18	生と死の教育	名古屋市社協の取組 と災害時の被災者支 援活動について	学生	300	早稲田大学
R7.12.4 R7.12.16	シルバーカレッジ 地域活動サポーター 講座	地域福祉活動やボラ ンティアセンター業 務、及び市内のボラン ティア活動等の説明	市民	243	愛知県社会福祉協 議会
R7.12.20	防災・減災カレッジ Vco コース	災害 VC 設置・運営等	県民	37	あいち・なごや強 靱化共創センター 等
R8.1.14	ボランティア入門 講演会	ボランティアについて	市民	10	南山大学
R8.2.7	災害ボランティア コーディネーター 養成講座	社協と災害ボラン ティアコーディネーター との関わり	市民	40	名古屋市スポーツ 市民局

5 他機関・団体の外部委員等への就任状況

No.	委 員	期 間	職 員
1	名古屋市市民活動の推進にかかる懇談会 (旧：名古屋市市民活動推進協議会)	平成24年10月～	部長
2	市町村社協災害対応支援部会 (旧：災害救援ボランティアセンター部会)	平成19年～	次長

6 全国会議・ブロック会議等への参加状況

会 議 名	開催年月	場 所
ボランティア・市民活動センター所長会議	令和7年5月	全社協
福祉教育担当者会議	令和7年5月	オンライン
令和7年度 全国福祉教育推進員研修	令和7年8月	オンライン
東海北陸ブロック・指定都市社協地域福祉担当部課所長会議	令和7年9月	石川県

◆ボランティアセンターのあゆみ

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協 （ボランティアビューロー）	登録人数 （人）	関連事項
26	市社協設立		（統計なし）	社会福祉事業法公布
48	奉仕銀行開設（後にボランティアビューロー⇒ボランティアセンター）		（統計なし）	オイルショック
55	ボランティアビューローに改称	社会福祉協力校事業 （守山でスタート）	（統計なし）	
56	福祉読本の発行開始		（統計なし）	国際障害者年
57	ボランティアセンターに改称 名古屋市子ども会ボランティア研修会助成開始		1,922	市総合社会福祉会館オープン 名古屋市福祉基金事業（助成）開始
58	社会福祉協力校事業開始（全市展開） ボランティア手帳の配布開始 愛知県ボランティア集会の開催（県社協と共催）		2,134	
59	ボランティア情報紙発刊 ボランティア保険料一部補助制度開始 里親ボランティア事業開始	区社協ボランティア ビューロー開設	5,855	日本人の平均寿命男女とも 世界1に
60	地域ボランティア養成講座（63年度まで）		7,044	
61	おもちゃ図書館「ともだち」開館	名東区ボランティア 連絡会設立	8,542	
62		サマーボランティア スクール（東区で スタート）	9,220	社会福祉士・介護福祉士法 公布
63	名古屋市おもちゃ図書館連絡会の結成	中村区ボランティア 連絡協議会設立	10,640	マル優制度原則廃止
平成 元	社会福祉活動実践校事業開始	南区ボランティア 連絡協議会設立	11,888	
2	ほっとはあとキャンプ開始 第1回愛知県ボランティア大会（県社協と共催）		13,619	
3	第1回名古屋市ボランティア集会開催		14,912	ソビエト連邦解体
4	冊子「今日からあなたもボランティア」送付開始 第2回名古屋市ボランティア集会開催		17,026	社協新基本要項策定
5	企業の社会貢献フォーラム開催（平成7年度まで） ノート型点訳パソコン貸出事業開始（令和2年度まで） 第3回名古屋市ボランティア集会開催		19,051	厚生省告示第117号中社審 意具申 ふれあいネットワークプラン21基本 構想策定

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協 （ボランティアビューロー）	登録人数 （人）	関連事項
6	ゆめびっくボランティアの募集 阪神・淡路大震災支援ボランティアの登録 企業の社会貢献調査の実施・報告書発行 企業ボランティア活動の手引き発行 愛知県ボランティア大会（県社協と共催）	昭和三区ボランティア 連絡協議会設立	20,297	阪神・淡路大震災 ゆめびっくあいち開催 名古屋市地域福祉推進計画 策定
7	区社協ボランティアビューロー活性化事業開始 第4回名古屋市ボランティア集会開催 初心者向けパンフレットの作成	西区福祉ボランティ ア連絡協議会設立	22,375	ボランティアセンター国庫 補助開始
8	登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 企業社会貢献実態調査（追跡調査） 第5回名古屋市ボランティア集会開催 リーダーボラ研修会開催 名古屋市点訳ボランティア連絡会結成準備 重油流出事故支援ボランティア活動情報の提供	ふれあいねっとと天白 設立（ボラ等連協） 守山区ボランティア 連絡協議会設立	28,602	ナホトカ号重油流出事故
9	ボランティアアドバイザー（中央郵便局ボランティア相談員） 研修の開催 ボランティア（市民活動）支援システム構築に関する 基本構想書の作成 第6回名古屋市ボランティア集会開催 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 ゆうあいピックボランティアの募集		31,888	NPO法成立 介護保険法成立 ゆうあいピック愛知・名古屋 開催 市民フォーラム21・NPO 支援センター設立 児童福祉法等の一部改正
10	第3回愛知県ボランティアフェスティバル（県社協と共催） シャチボラ連続学習会開催 名古屋点訳ネットワークの結成 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 ねんりんピックボランティアの募集		32,834	
11	高校生介護体験特別事業開催 高齢者疑似体験インストラクター研修会 盲導犬歩行体験インストラクター研修会 福祉教育資料貸出 第7回名古屋市ボランティア集会開催 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 ボランティア情報ネットワークシステム導入	緑区ボランティア 連絡協議会設立 守山区、千種区ボラ ンティアセンター設 置	35,235	
12	第8回名古屋市ボランティア集会開催 環境デーなごやへの協力 ガイドネットワークなごやの結成 シーンボイスガイド実行委員会 第4回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2000～への 出展 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新	中村区、南区、瑞穂 区ボランティアセン ター設置	35,912	介護保険制度開始 社会福祉法施行 東海豪雨災害
13	勤労者マルチライフ支援事業受託（15年度まで） ボランティア団体、NPO研修 ボランティアコーディネーター研修会 第9回名古屋市ボランティア集会開催 登録ボランティア活動実態調査+パソコンデータ更新 情報ネットワークシステム操作説明会 シーンボイスガイド養成講座	中区、昭和三区、港区、 熱田区ボランティア センター設置 東区ボランティア連 絡協議会設立	71,305	新・名古屋市地域福 祉推進計画策定 創立50周年社協全国会議 開催 ボランティア国際年 全社協第2次ボランティ ア・市民活動推進5ヵ年プ ラン策定

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協（ボランティアセンター）	登録人数（人）	関連事項
14	盲導犬歩行体験インストラクターフォローアップ研修 第4回あいちボランティアフェスティバル（県社協と共催） 子育てフェスタ in あいち NPOアワード	千種区、中区、港区 ボランティア連絡協議会設立	69,302	なごやボランティア・NPOセンター設置 身体障害者補助犬法施行
15	第10回名古屋市ボランティア集会開催 区ボランティア連絡協議会代表者懇談会・役員研修会開催 福祉教育推進にかかる検討会設置 市社協ボランティアセンター運営指針作成 ボランティア体験学習事業助成の開始		81,080	支援費制度開始
16	平成16年度なごや福祉教育セミナー開催 「福井豪雨水害」「新潟県中越地震」への職員・ボランティアの派遣 市社協防災マニュアルの作成 ボランティア・NPOフェスタ2005開催	ボランティアセンターに名称を統一 各区社協地域福祉活動計画策定	63,380	福井豪雨水害 新潟中越地震
17	平成17年度なごや福祉教育セミナー開催 ボランティア・NPOフェスタ2006開催 名古屋市ボランティア連絡協議会設立 メールマガジン「なごメール」配信開始	熱田区ボランティア連絡協議会設立	67,475	愛知万博開催
18	第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや名古屋ブロック実行委員会設立 平成18年度なごや福祉教育セミナー開催 全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや 名古屋ブロックプレフェスティバル開催 福祉学習サポーター養成研修開催（～㉔） 「能登半島地震」への職員の派遣（～H19.5）		69,908	第3次市社協地域福祉推進計画策定 能登半島地震
19	第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや開催 IAVEアジア太平洋地域ボランティア会議開催 ふれあい名古屋リニューアル発行（「ほっとはあと」と合併発行）		71,923	全社協第3次ボランティア・市民活動推進5ヵ年プラン策定 新潟県中越沖地震
20	名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業受託実施 名古屋市災害ボランティアセンター設置 地域協働子育てフォーラム開催 ボランティア・NPOフェスタなごや2009開催	各区社協第2次地域福祉活動計画策定	73,072	平成20年8月末豪雨災害
21	第16回日本福祉教育ボランティア学習学会あいち・なごや大会開催 ボランティア・NPOフェスタなごや2010開催 新・登録ボランティア情報管理システム導入		76,718	

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協（ボランティアセンター）	登録人数（人）	関連事項
22	地域福祉リーディングモデル事業 人づくり応援事業 人づくり応援事業形態変更・活動資金応援事業助成金額等変更 ボランティア・NPOフェスタなごや2011開催		81,904	東日本大震災
23	「東日本大震災」への職員の派遣（～H23.11） 東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやの運営（受託実施23.4～） 岩手県大槌町ボランティアバスの運行（4便） 三重県紀宝町ボランティアバスの運行（5便） ボランティア・NPOフェスタなごや2012開催 福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや開催（以降毎年継続実施）		87,004	名古屋市市民活動推進センター開設 平成23年9月 台風12号 平成23年9月 台風15号
24	地域福祉リーディングモデル事業 人づくり応援事業 市社協運営へ移行 ばらチャリの実施（～27まで実施） 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド」の発行		89,632	
25	名古屋市傾聴ボランティアの会の組織化 「名古屋市・区社協ボランティアセンター機能強化指針」の策定 「福祉教育実践ポイントガイドブック」の作成	各区社協第3次地域福祉活動計画策定	93,253	7月18日までの大雨被害 7月22日大雨被害 7月28日大雨被害 台風18号 2月14日～15日大雪災害
26	大槌町復興支援ボランティアバス実施 「ボランティアセンター事務マニュアル」改訂 「ボランティアコーディネーターハンドブック」の発行		89,537	台風8号 台風12号による大雨 台風11号 8月15日からの大雨 8月19日からの大雨 なごやか地域福祉2015策定
27	福祉学習サポーター養成研修開催（28以降継続） なごやボランティア楽集会の実施（28以降継続） ばらマッチなごや！の主催に参画 ガイドネットワークなごや15周年		111,536	本会第2次経営戦略計画策定 市区町村社協ボランティア・市民活動センター強化方策2015策定
28	「熊本地震」への職員の派遣 おもちゃ図書館ともだち30周年 名古屋市ボランティア連絡協議会10周年 なごやのボランティア史編纂委員会へ参画 市民セクター対応協議会へ参画（29以降継続）		96,954	熊本地震 台風10号 鳥取県中部地震 新潟県糸魚川市大規模火災
29	市・区社協ボランティアセンター機能質的評価調査実施 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド追加補足版」の作成協力 「学校・地域で育む「ともに生きる力」～福祉学習サポーターと区社協が協同した福祉教育実践事例集」の作成		90,790	九州北部豪雨災害 秋田県豪雨災害 台風18号災害 台風21号災害

年度	市社協（ボランティアセンター）	区社協（ボランティアセンター）	登録人数（人）	関連事項
30	区社会福祉協議会ボランティアセンター現状把握（訪問調査） 「平成30年7月豪雨」への職員の派遣 第24回日本福祉教育ボランティア学習学会あいち・なごや大会開催 市おもちゃ図書館連絡会30周年記念事業	各区第4次地域福祉活動計画策定	89,156	大阪府北部地震 平成30年7月豪雨 北海道胆振東部地震
令和元	「台風19号災害（栃木市）」への職員の派遣 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド(タイムライン版)」の作成 地域の支え手応援事業開始		85,106	山形県沖地震 6月29日からの大雨 8月27日からの大雨 台風19号災害 なごやか地域福祉2020策定
2	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、市総合社会福祉会館臨時休館(4月10日～5月31日)。同年6月以降は各室の定員半減等の対応 「地域の支え手応援事業」開始 「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド～新型コロナウイルス禍における設置・運営の考え方(追加補足版)～」の作成 コロナ禍における新しい福祉教育プログラム検討会の開催 「なごやボランティア物語」作成 (なごやのボランティア史編纂委員会)		82,042	新型コロナウイルス感染拡大 災害VCに係る費用の災害救助法の国庫負担の対象化
3	「コロナ禍における新しい福祉教育プログラム」の作成 ガイドネットワークなごや20周年(コロナの影響により1年遅れで行事開催) 「ポストコロナ社会で私たちができることを考える講演会」開催		74,452	令和3年7・8月大雨 令和4年福島県沖地震
4	「今ナゴヤで起きていることを“自分ごと”として考える講演会」開催		72,895	台風14号・15号 令和4年8月大雨 能登地方地震
5	「名古屋市・区災害ボランティアセンター設置・運営ガイド～ITを活用した設置・運営の考え方(追加補足版)～」の作成 「令和6年能登半島地震(能登町)」への職員派遣(R6.1～)	各区第5次地域福祉活動計画策定	78,584	令和6年能登半島地震
6	「令和6年能登半島地震(能登町)」への職員派遣(～R6.7) 「奥能登豪雨(輪島市)」への職員派遣		73,818	奥能登豪雨
7	ガイドネットワークなごや25周年 災害VC初期対応チーム 発足 福祉教育のつどい(県社協・市社協共催)開催		64,660	

所管事業名称等一覧表 (相談・需給調整部分および庶務・経理事務は除く)

事業名	開始年度
市社協ボランティアセンターの運営 ・ボランティア活動相談・情報提供 ・ボランティア登録制度の運用・情報管理 ・活動拠点・資器材の提供 ・ボランティア活動保険・行事用保険の受付	昭和55年度～(ボランティアビューロー) 昭和57年11月～(ボランティアセンター)
ボランティア顕彰 ・名古屋市民間社会福祉事業功労者表彰への推薦 ・愛知県ボランティア活動功労者表彰への推薦 ・ボランティア功労者にかかる厚生労働大臣表彰への推薦	昭和53年度～ 昭和55年度～ 昭和57年度～
福祉教育・ボランティア学習の推進 ・福祉読本「ともに生きる」の発行 ・社会福祉協力校 ・福祉体験学習資材の貸出し ・疑似体験インストラクターの養成・管理 ・福祉学習サポーター養成講座 ・日本福祉教育・ボランティア学習学会の共催(臨) ・福祉教育・ボランティア学習のつどい in あいち・なごや共催 ・福祉教育のつどい共催	昭和57年度～ 昭和58～平成23年度 昭和62年度～ 平成11年度～ 平成18～20年度、27年度～ 平成21年度 平成23年度～令和元年度 令和7年度～
ボランティア活動情報の発信 ・市社協情報紙「ふれあい名古屋」内「ほっとはあとコーナー」編集(旧・ボランティア情報紙「ほっとはあと」発行) ・メールマガジン「なごメール」の配信 ・市社協ボランティアセンターホームページ開設 ・市・区社協登録ボランティア団体情報検索システム「なごやボラねっと」運営 ・なごや福祉ボランティア募集情報	昭和59年度～ 平成17～25年度 平成21～25年度 平成21年度～ 平成27年度～
家庭体験事業(旧：里親ボランティア事業)	昭和59年度～ ※平成30年度～施設ラインへ移管
ボランティアネットワーク組織の事務局 ・市おもちゃ図書館連絡会(おもちゃ図書館ともだちの運営) ・名古屋点訳ネットワーク(NBN) ・ガイドネットワークなごや ・市ボランティア連絡協議会 ・名古屋市傾聴ボランティアの会	昭和63年度～ 平成10年度～ 平成12年度～ 平成17年度～ 平成26年度～
ボランティア・NPOフェスタ(名古屋市ボランティア集会) ・名古屋市ボランティア集会 ・ボランティア・NPOフェスタ ・第16回全国ボランティアフェスティバルあいち・なごや ・ボランティア・NPOフェスタなごや ・なごやボランティア楽集会	平成3～15年度 平成16～17年度 平成19年度(18年度にプレ開催) 平成20～23年度 平成27年度～
独立行政法人福祉医療機構地域活動助成(福祉医療機構地方分助成事務受託)	平成9～21年度
災害ボランティア活動の推進	平成16年度～
地域福祉リーディングモデル事業	平成17年度～令和元年度
地域の支え手応援事業	令和2年度～
東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごやの運営(委託業務) ※令和6年4月～被災者支援ボランティアセンターなごやに名称変更	平成23年度～
名古屋市市民活動推進センター(平成24年度開所)との連携 ・ぼらチャリ ・ボランティア入門講座(ボランティア体験講座)	平成24～27年度 平成26年度～令和2年度

・ぼらマッチ！なごや	平成27年度～
------------	---------